



楽しかった紙芝居会

紙芝居と映画会（村教委主催）は4月23日、ふれあい交流センターで開かれ、幼児など約30人が絵本や紙芝居などを楽しみました。

午前10時になると、同センター2階に子どもたち

が集合。ゲームで交流した後、早速、お姉さんが絵本を読み始めました。すると子どもたちは物語の中にどんどん引き込まれ、熱心に聞き入っていました。**(写真)** お父さんのスティーブ・ジャングさん（旭日区）と一緒に参加した李音君（3歳）は「楽しかったです」と喜んでいました。



緑の村に、歓声響く

ゴールデンウィーク恒例の「緑の村子どもまつり」が5月4、5の両日、鳥居地区の自然休養村緑の村で開かれました。

新緑がまぶしい会場には、村内外からたくさんの家族連れが訪れ、かき氷や綿アメを食べたり、金魚すくいやエアートランポリンを楽しむ子どもたちの歓声が響き渡っていました。

午後3時からの「景品付もちまき大会」では、ステージ前にたくさんの親子が集まり、景品付きのもちを拾おうと必死に手を伸ばしていました。**(写真)** まつりは2日間で約2千人が訪れ、皆さん思い思いの楽しい休日を過ごしていました。

ルール守り交通安全

春の交通安全運動の一環として、村内の小中学校と普代児童館では、交通安全教室を開き、交通安全を呼び掛けました。

このうち4月19日、普代中学校（木村利光校長、生徒104人）で行われた同教室では、菊池孝則普代駐在所長と村交通指導員の皆さんから自転車の正しい乗り方や、信号交差点での安全確認などを学習しました。**(写真)**

実技講習後に菊池所長は「自転車と歩行者とぶつかるなど、死亡するケースもあります。自転車も車と同じ必ずルールを守りましょう」と注意を促しました。

